



2019

省エネ・環境活動報告



梅村学園の省エネ・環境活動方針

梅村学園の環境活動によせて

梅村学園では中京大学と中京大学附属中京高等学校において、省エネルギー、環境活動に積極的に取り組み、エコキャンパスづくりを進めています。学園全体で、地球環境の保全と温暖化防止に貢献していきます。

梅村学園の省エネ・環境保全の取り組みは、2008年の「中京大学省エネルギー推進委員会」の発足が始まりです。2010年からは学園全体で組織的に取り組んでおり、2016年に学園としてのエネルギー使用量について「対前年度比1%削減の継続」を目標に掲げました。2019年度は対前年度比97.1%で、3%近い削減を達成することができました。

中京大学の名古屋、豊田両キャンパスでは、長寿命でエネルギー効率の高い照明設備への更新を進めています。夏季、冬季の休暇期間中には大学内の施設を原則的に閉館とし、空調やエレベーターを停止してエネルギー消費を抑制するよう努めています。

SDGs（持続可能な開発目標）をテーマにした合同シンポジウムの共催、学部ゼミによるプラスチックごみ問題などの啓発パンフレット作成など、環境への取り組みは裾野が広がっており、大学のボランティアサークルやエコサークルによる環境活動もしっかりと成果を挙げています。

気候変動の影響で自然災害のリスクが増大しつつある中、環境活動は、安心・安全な教育環境を確保していくことにもつながります。梅村学園では今後もさらなる温暖化対策・省エネ対策を実行し、快適なエコキャンパスづくりをしていきます。

この報告書では、2019年度の環境活動に関する取り組み状況をまとめました。多くの皆様に目を通していただき、ご理解とご協力を頂ければ幸いです。



梅村学園
総長・理事長 梅村 清英

基本理念

本学園は、かけがえのない地球環境を守り、自然豊かな環境を次世代に引き継ぐことが

現代社会の基本的な責務であると認識します。

本学園で生活する者すべてが、諸活動を通して、環境負荷の低減に取り組み、

「持続可能な社会」の構築に対し、教育機関としての責務を果たします。

基本方針

省資源・省エネルギーの推進および、廃棄物の減量と適正管理等に努め、環境負荷低減に取り組む。

1

法規制・協定の遵守

本学園に生活する者は、法規・協定を遵守し、それぞれの立場で自発的・積極的に行う環境保全活動を奨励し、継続的、且つ向上的活動が行えるよう支援する。

2

環境負荷低減

教育・研究をはじめ、すべての活動において、省エネ法、温対法等の環境関係法令、規制、協定を遵守し環境負荷の低減、保全に努める。

3

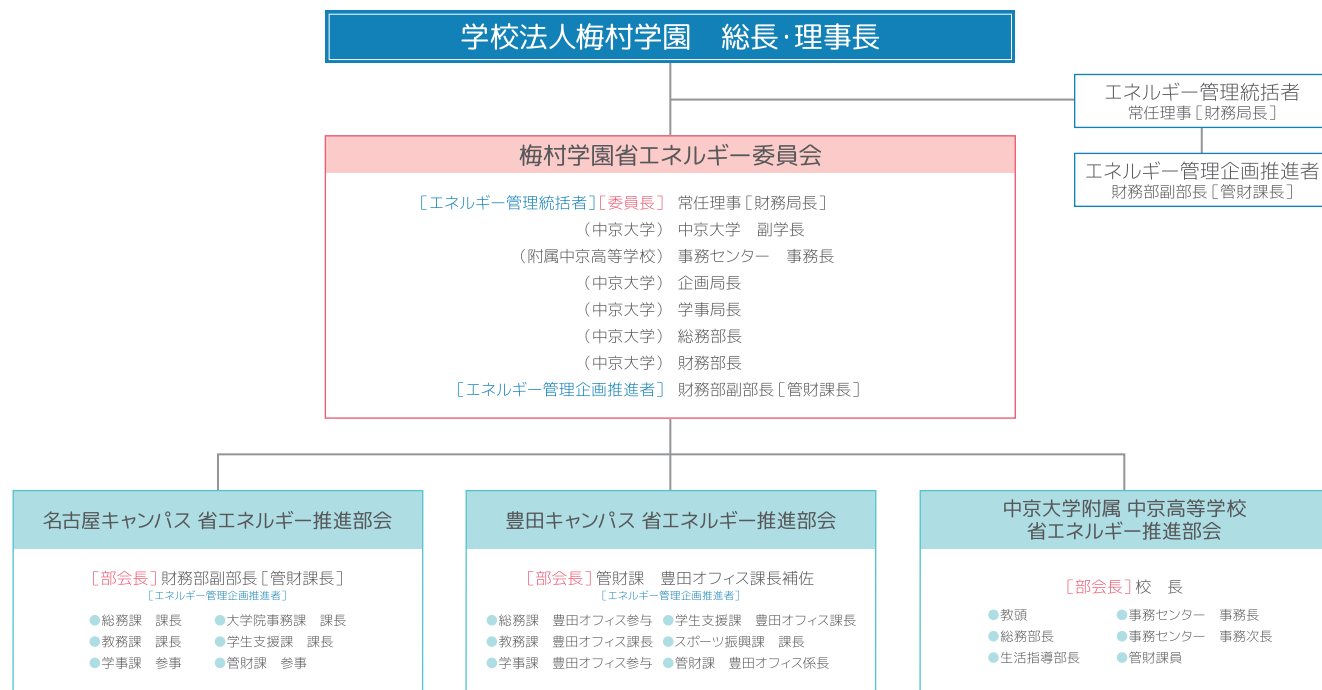
自発的な活動の奨励

本学園に生活する者が、それぞれの立場で自発的・積極的に行う環境保全活動を奨励し、継続的、且つ向上的な活動が行えるよう奨励支援する。

省エネ・環境活動における体制と梅村学園施設概要

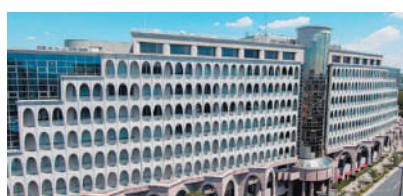
梅村学園省エネルギー委員会組織図

※2019年5月1日公表 人事異動に伴う役職名称で組織表作成。組織については、委員会規定ならびに関係法令により見直しをおこなう。



梅村学園施設概要

2019年5月1日現在



中京大学 名古屋キャンパス
 (エネルギー管理指定工場)

校地面積	70,581㎡
校舎面積	102,472㎡
学生数	8,491人
教職員数	382人
CO ₂ 排出量	3,939t
エネルギー使用量	2,146kℓ



中京大学 豊田キャンパス
 (エネルギー管理指定工場)

校地面積	424,659㎡
校舎面積	82,396㎡
学生数	3,695人
教職員数	133人
CO ₂ 排出量	4,119t
エネルギー使用量	2,230kℓ



中京大学附属 中京高等学校

校地面積	29,603㎡
校舎面積	17,400㎡
学生数	1,373人
教職員数	80人
CO ₂ 排出量	530t
エネルギー使用量	283kℓ



青木湖セミナーハウス

敷地面積	174,774㎡
宿舎面積	7,505㎡
定員	215人
CO ₂ 排出量	530t
エネルギー使用量	246kℓ



蓼科セミナーハウス



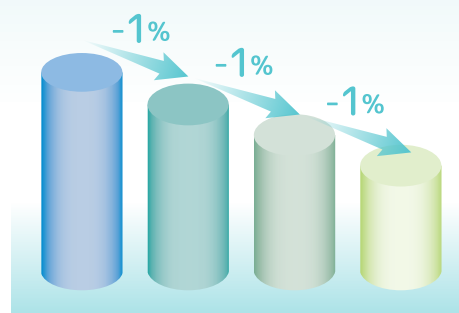
活動目標と各キャンパスのエネルギー使用量

活動目標

エネルギー使用量(前年度比) 1年で1%削減の継続

2011年より『エネルギー使用量 年-1%、5年で-6%』の目標を設け、学生・教職員への啓発活動をはじめ、照明・空調機の運用見直しやエネルギー効率の高い設備機器への更新など、ソフト、ハード両面の取り組みにより省エネが進められ、目標数値を達成しました。

「省エネ法」を遵守するため、2016年より新たな活動として『エネルギー使用量(前年度比)1年で1%削減の継続』を目標に掲げ、学園全体で省エネルギー対策の取り組みを進めています。



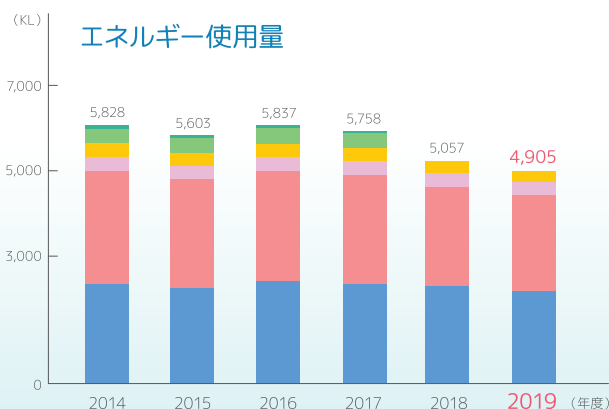
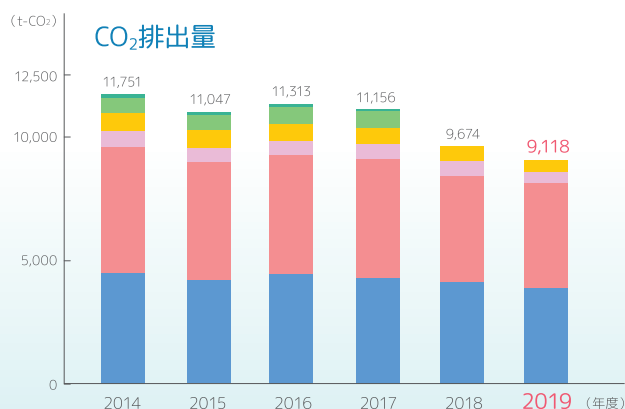
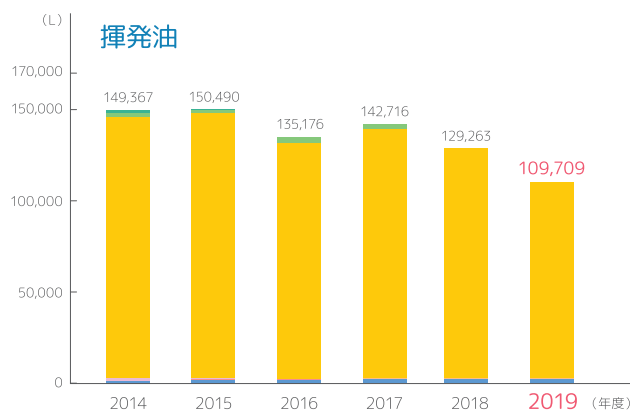
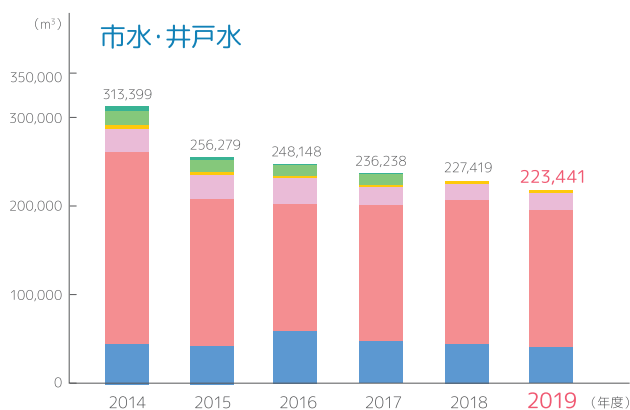
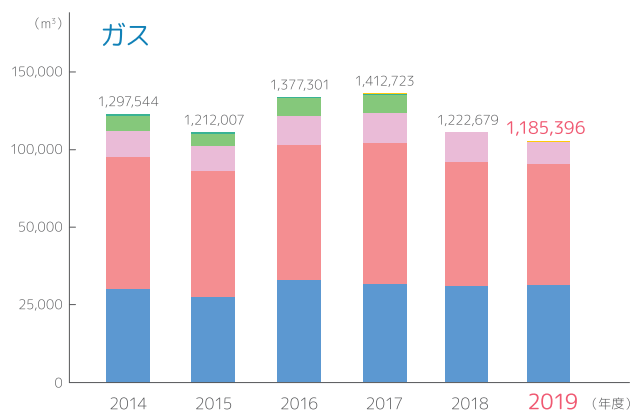
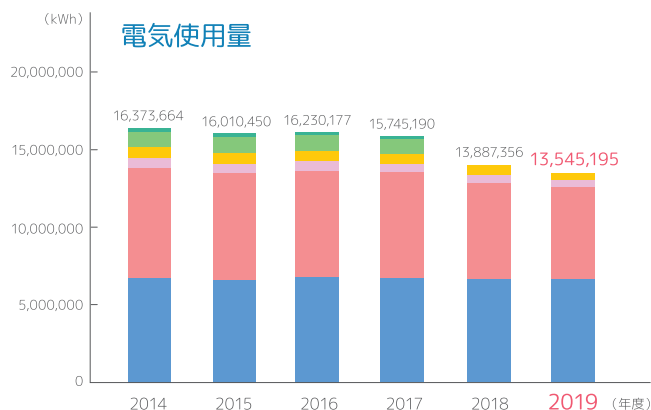
エネルギー使用量(前年度比)

1年 1%削減

各キャンパスのエネルギー使用量(2014年~2019年)

■ 中京大学 名古屋キャンパス ■ 研修施設
■ 中京大学 豊田キャンパス ■ 三重高等学校・中学校*
■ 中京大学附属 中京高等学校 ■ 梅村幼稚園*

※三重高等学校・中学校、梅村幼稚園は2018年4月をもって別法人「学校法人三重高等学校」になりました。2017年までのグラフの数値は「三重高等学校・中学校、梅村幼稚園」を含んでいます。



省エネ・環境活動の取り組み

本学では、以下のような削減目標を策定し、環境に配慮した活動を行っています。2010年度からは、下記の取り組みを目標とし、現状の改善に向けた計画を推進しています。

〔現状レベル〕

- A 目標をほぼ達成している(取り組み実行中)
- B 目標の50%程度を達成したもの
- C これからの目標として計画すべきもの
- D 現状、予定なし

■ 改善取り組み実行中 □ 改善取り組み計画中

対象	目 標	具体的な取り組み	実 績	評価
エネルギー使用量削減	節 電 前年度比 1%以上の削減	〔照明〕 ■ 消灯の励行 ■ 省エネ電灯・照明機器、高効率投光器の導入(LED照明等) ■ 照明センサー付自動調光照明の導入 □ グリーンエネルギー照明の設置 ■ 電灯の間引き点灯 ■ タイマー運転、人感センサーの設置 〔空調〕 ■ 空調機の効率稼働の為の保守管理 ■ 空調機のタイマー運転 ■ 一括空調から個別空調への切替 □ カーテンなどによる空調効率向上 ■ コイル・フィルターの定期清掃 ■ 空調温度設定管理 ■ 高効率空調機への更新 ■ ガラス面への断熱シート導入 〔その他 設備・機器〕 □ デマンド制御の導入 ■ 太陽光発電設備の導入 ■ エレベーターの運転規制 ■ 高効率受変電設備への更新 □ OA機器の節電	前年度比 2.1%減 〔現状実績〕 電力 2018年度 12,715,899kwh 2019年度 12,447,124kwh	A
	ガ ス 前年度比 1%以上の削減	〔設備・機器〕 □ 各種熱源・搬送設備への切替 ■ 高効率ガス給湯器への更新	前年度比 2.1%減 〔現状実績〕 都市ガス 2018年度 1,077,391m ³ 2019年度 1,054,711m ³	A
	節 水 (市水 + 井水利用) 前年度比 1%以上の削減	〔給排水設備〕 ■ 節水型機器への更新 □ 漏水管理の徹底 ■ 中水(雨水)利用設備の設置 ■ 地下水利用システムの導入	前年度比 2.2%減 〔現状実績〕 市水・井水 2018年度 207,130m ³ 2019年度 202,587m ³	A
緑化省資源廃棄物	緑 化 校地面積の関係から、現状緑化維持に努める	□ 屋上緑化・壁面緑化 □ 学内緑化の推進(植樹等)	〔現状実績〕 緑化 原則、校地の30%の緑地を確保	B
	資 材 購 入 紙のリサイクルと共に消費量の削減を図る	■ コピー・印刷用紙の削減(両面コピーの励行、電子媒体活用によるペーパーレス化) □ リサイクル古紙活用 □ グリーン購入促進		B
	廃棄物削減 排出量の数値把握及び減量化を進める	■ ゴミ分別ルールの見直しと分別回収の徹底 □ リサイクルへの取り組み ■ リサイクル推進によるゴミ原料の分別(可燃、不燃、紙類、ビン・缶、ペットボトル、発砲スチロール)	前年度比 6.4%増 〔現状実績〕 ゴミ排出量 2018年度 205,448kg 2019年度 218,610kg	C
環境教育啓発活動	通 勤・通 学 自家用車通学(勤)者の「エコモビ」への啓発	■ 公共交通機関の利用奨励 ■ 公用車、スクールバスの効率的な運行 □ アイドリングストップの励行	前年度比 2.8%増 〔現状実績〕 公用車ガソリン 2018年度 2,335ℓ 2019年度 2,401ℓ	C
	環境コミュニケーション活動 教職員・学生への周知と効果的な推進体制	■ 室温適性管理の啓発表示・周知(ポスター掲示等) ■ 「省エネ」キャンペーン等の実施による意識向上 ■ CO ₂ 削減「クールアース・デー」参加 ■ 学内禁煙と「分煙」喫煙所の設置 ■ 入構車両の規制と「交通安全キャンペーン」 ■ 「クールビズ・ウォームビズ」の推進 ■ 「クリーンキャンペーン」(ゴミ拾い・キャンパス美化活動) ■ 放置自転車の一掃 ■ 環境ボランティア(節電パトロール) ■ 「エコウィーク」の実施		B
	環境教育の実施 全学的な実施の展開	■ 「環境関連」講演会・シンポジウムの開催 ■ ガイダンスなどでの「環境」取り組み説明の実施 ■ 部活動の「省エネ」活動支援 ■ 長期休暇中の施設閉館・入構規制への協力 ■ エコサークル活動の育成支援 ■ 「省エネ」啓発ポスター掲示		A
管理関係	「省エネ推進」及びエネルギー管理	■ 省エネルギー委員会の開催 ■ エネルギー使用量の把握・周知・運転管理 ■ 省エネ実施計画や規定の策定及び指導・啓発 □ リサイクルの指導・啓発 ■ 官庁へのエネルギー使用量の報告 ■ 授業時間外、長期休暇期間中の施設閉館の定着化 ■ ホームページで「エネルギー使用状況」などの公表と啓発		A

(参考:2019年度 中京大学実績)

環境改善のための活動（中京大学でのECO ACTION）

学生・教職員への「啓発活動」

『省エネ啓発ポスター』の掲示

「室温の適正化／ムダな照明・空調機の消灯活動／節水活動」など継続的に、このような掲示物を通じて、さまざまな場面・機会を捕らえた啓発活動を行なっている。



『学園のエネルギー使用状況』ホームページへ公開

「梅村学園ホームページ」で学生・教職員・一般の方が学園のエネルギー使用状況を閲覧できるように公開している。



各施設のエネルギー使用状況

- 学生、サークルによる『エコウィーク』の実施
- 環境ボランティアによる『節電パトロール活動』
- 『エネルギー管理委員』の講習会受講

対外の「省エネ・環境活動」への参加

行政、NPO主催の『省エネキャンペーン』の各種参加や呼びかけ

《省エネキャンペーン》

●クールビズ

「夏の省エネ」励行と学園では、空調温度（冷房）27℃に設定

●ウォームビズ

「冬の省エネ」励行と学園では、空調温度（暖房）20℃に設定

●クールアース・デー

環境省主催「夏至」「七夕」の節電や照明の消灯活動への参加

●エコ・モビリティライフ

愛知県主催 電車・バス等の公共交通、自転車、徒歩などかきこく使い分けて、環境にやさしい交通手段を利用する活動への参加

『環境関連』講演会・シンポジウムの開催



過去の開催テーマ

- 「生物多様性・気候変動・グリーン経済」
- 「生物多様性～名古屋市の取り組み」
- 「愛知の環境のあらまし」「炭と環境講演会」
- 「環境国際条約と施策の実態：関係した業務からの実例」
- 「生物多様性・自然環境保全と環境省の（現場での）施策」
- 「グローバルな問題としての環境：生物の多様性の現場を歩んで」
- 「3.11後の日本のエネルギー政策の方向性」
- 「すべての人々が幸せであり続けるために私たちができること～SDGsを通じたこれからの取り組み～」

長期休暇期間中の「省エネの促進」（学内施設の閉館など）

夏季・冬季休暇期間中の集中的な学内施設の閉館、空調機・エレベーター停止による『省エネの促進』

はじめてみよう・エコアクション

ECO ACTION

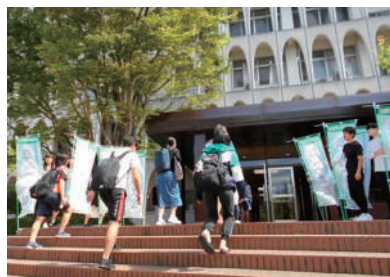
学園での環境対策活動を「エコアクション」として、学生・教職員へ向けて啓発活動を行なっています。「省エネ・環境活動」には、学園で生活する皆さんの参加が不可欠です。すべての方に「エコアクション」への参加をお願いします。

サークル「エコアクション」 エコウィークを実施

豊田キャンパスのエコサークル「エコアクション」では、キャンパス内の美化や節電など、省エネへの意識を持ってもらうため冷房がスタートする時期に合わせた、2019年5月20日～5月24日までを豊田キャンパスエコウィークとし教室の照明や空調機をこまめに切ることや、ゴミの削減、分別をするよう呼びかけ活動をした。また、キャンパス内の「環境パトロール」を実施した。



学生コメント



呼びかけをすることで、自分たちの身のまわりの環境について少しでも意識し、節電などを実践してもらえたらいいなと思います。私自身も、これからは環境について意識をしながらできることをやっていきたいです。
(現代社会学部2年)

「エコ」と言っても、環境問題の現状など具体的にわかることが少ないので、もう少し身近に感じてもらう方法を模索していく必要があると思っています。
(現代社会学部2年)

呼びかけ活動自体はとてもシンプルな事ですが、多くの人にエコ活動の協力を促すことが出来たと思います。これから、エアコンが多用される季節になっていくので普段から省エネに対して心がけをしていきたいです。
(現代社会学部2年)

階段の利用やゴミの分別を呼び掛けることで、「エコウィークなんだ」「階段でも使用するか」など賛同してくれる人が多くいました。この活動を継続して行うことに大きな意味があると感じました。
(現代社会学部4年)

この活動をする中で、今まで節電や節水などあまり気にしていなかった人でも少しは気にかけてくれたのだと思いました。一人ひとりの環境に対する意識が良い方向に変わっていくと思うので、頑張っていきたいです。
(現代社会学部3年)

ゴミ箱があふれているのが気になりました。ゴミ箱を増設すれば、構内美化につながりますが、環境的には良いわけではありません。エコ活動を構内に広めていき一人ひとりがゴミを減らす意識をしていけば環境に良いし、構内も汚れないと思いました。
(現代社会学部3年)

中京大学と名古屋市立大学が共催 合同シンポジウム「すべての人々が幸せであり続けるために私たちができること ～SDGsを通じたこれからの取り組み～」

中京大学と名古屋市立大学の共催による合同シンポジウム「すべての人々が幸せであり続けるために私たちができること～SDGsを通じたこれからの取り組み～」が2020年1月、中京大学名古屋キャンパスの清明ホールで開かれ、一般、学生、関係企業や大学教職員を含む421人が聴講した。

冒頭、安村仁志・中京大学学長は「教育機関として質の高い人材を育てていきたいです。皆さんと一緒に持続可能な開発のための目標を考え、行動に結びつくことを願います。」とあいさつ。

基調講演で新田英理子・SDGs市民社会ネットワーク理事・事務局長は、SDGsを自身のNPO団体の活動の紹介を交えながらわかりやすく紹介。現状のままだと、環境問題だけにとどまらず地球規模で持続不能になる様々な問題を提唱し、SDGsが目指す2030年に私たちがどういう社会になってほしいか、そのための考え方や価値観を、日常生活を通して考えることが大事であると述べた。

続いて中神泰次・豊田市未来都市推進課・課長は「『SDGs未来都市とよた』の取り組み」と題して講演し、豊田市の重点分野であるエネルギー、モビリティ、ウェルネスというテーマに沿った具体的な事例を紹介。今後は企業や大学とのパートナーシップの連携を強化し、「モノ」づくりだけでなく「モノ・コト・ヒト」がつくるまちを目指すと語った。



省エネ・環境活動への理解に向けて

「省エネ・環境活動」には、学園で生活する皆さんの参加が不可欠です。

すべての方に はじめてみよう・エコアクション **ECO ACTION** への参加をお願いします。

一人ひとりのできることで、実現できます。私たちの『エコキャンパス』

省エネのご協力をお願い

2018年度は50%以上の大学などの教育機関が、省エネ法の事業者クラス分け評価制度（S・A・B・Cの4段階）において、Sクラスとなっています。中京大学もSクラス評価となるよう、務めています。

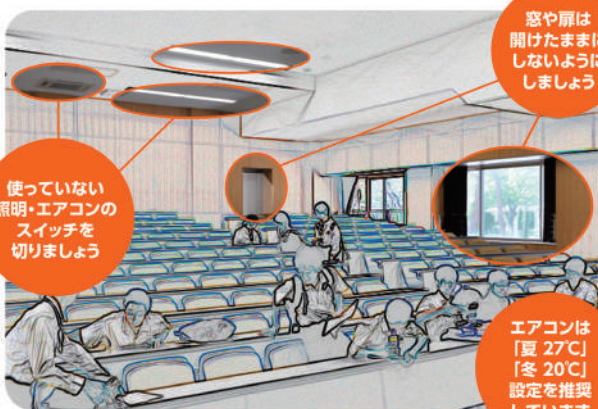
私たち一人ひとりができる地球温暖化対策として、『ECO ACTION』をみなさんをお願いしています。

✓ 教室の照明はすべて点灯するのではなく必要な部分のみ点灯しましょう

✓ 誰もいない教室のエアコン・照明を切りましょう

✓ 数フロアの移動は階段を使いましょう

✓ 講義終了後はすみやかに照明を切りましょう



エネルギー
使用量前年比

1年で1%削減の継続

はじめてみよう・エコアクション
ECO ACTION
梅村学園 省エネルギー委員会

(省エネ啓発ポスター)

はじめてみよう・エコアクション

ECO ACTION 活動をホームページで紹介しています。

学園のエネルギー使用状況は梅村学園ホームページで閲覧できるようになっています。

[閲覧の仕方] 梅村学園HOME ▶ 学園概要 ▶ 環境・地球温暖化に関する取り組み ▶ 光熱費等エネルギー使用状況

<http://www.umemura.ac.jp/information/a8.html>



QRコードでの
アクセスはこちら

省エネ・環境活動報告 2019年度版

編集：梅村学園 省エネルギー委員会 2020年10月制作

問い合わせ先

学校法人 梅村学園 中京大学 財務部 管財課豊田オフィス



〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立101

TEL.0565-46-1234 FAX.0565-46-1291

<http://www.chukyo-u.ac.jp>

【ご参考】

■ 梅村学園全体の『 エネルギー使用量 削減達成状況 』

